

各関係機関の長 殿

鹿児島県病害虫防除所長

令和3年度技術情報第18号について（送付）

ピーマンのアザミウマ類について下記のとおり取りまとめましたので送付します。なお、本情報は病害虫防除所ホームページ（www.jpnpn.ne.jp/kagoshima）にも掲載しています。



令和3年度 技術情報第18号

1 対象病害虫 アザミウマ類

2 対象農作物 ピーマン

3 発生状況等

- 12月の発生ほ場率は67%で平年（45%）よりやや高く（図1）、過去10年では2番目に高い。また、発生程度の高いほ場も認められた（表1）。
- カブリダニ類等の天敵放飼が行われているが、12月における天敵類の密度は全体的に低く（表2）、発生程度の高いほ場では天敵がほとんど認められなかった。このため、天敵類が増殖していないところでは、本虫の発生増加が懸念される。

4 防除上注意すべき事項

- 天敵を導入しているほ場で防除を要する場合は影響の少ない薬剤を選択する。また、多発したほ場ではリセットを考慮した防除を行う。
- 花や新芽の中など薬剤のかかりにくい場所に生息するので、薬剤散布は丁寧に行う。
- 薬剤によっては感受性が低下しているので、散布後は防除効果を確認する。
- 同一系統薬剤の連用を避け、作用性の異なる薬剤のローテーション散布に努める。

5 調査結果

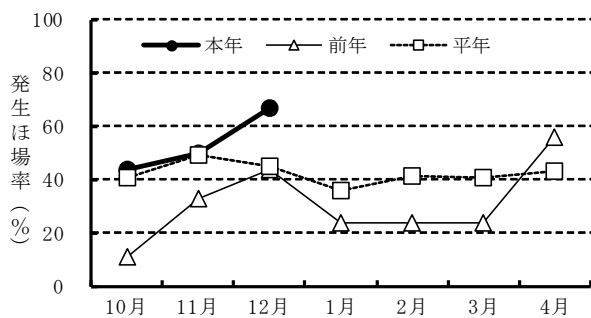


図1 アザミウマ類の発生ほ場率の推移

表1 12月の発生程度別ほ場数（アザミウマ類）

調査地点	ほ場数	発生程度				
		甚	多	中	少	無
南さつま市	4					4
志布志市	7	2		1	2	2
東串良町	7	1		4	2	

表2 天敵類の寄生花率

調査地点	ほ場数	寄生花率(%)					
		カブリダニ類			タバコカスミカメ		
		1~10	11~20	20<	1~10	11~20	20<
南さつま市	4	1	1		1		
志布志市	4	1			2	1	
東串良町	4	2				1	

注) 調査ほ場数は調査協力員の調査ほ場を除くため、表1より少ない。